

栗東市農業委員会

発行日：令和3年6月10日
発行：栗東市農業委員会農政・広報部会
所在地：栗東市安養寺1-13-33
TEL077-551-0319 / FAX077-551-0148

ミニ広報

「栗東市農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」・市長の回答

当農業委員会が「農地等の利用の最適化」をより良く果たすため、昨年11月13日に意見したことに
対し、栗東市長から令和3年1月8日に回答を受けましたので、お知らせします。

※提出した意見書についてはHPに公開しています。

(<http://www.city.ritto.lg.jp/soshiki/other/nogyo/10060.html>)

◎意見書に対する回答（抜粋）

1 「担い手への農地利用の集積・集約化」について

No.	意見概要	回答（抜粋）
①	優良農地の保全・確保の基本計画について ・農地の持つ多面的機能を確保し良好な生活空間を守る観点から、市街化調整区域の 優良な農地の保全や確保 、市街化区域における開発等により残存された農地のあり方を含め、 良好な環境形成に考慮していただき、計画されたい。	・農業振興基本計画と農業振興地域整備計画の両面において令和4年3月末の完了に向け都市的農業の在り方や優良農地の保全や確保などについて、 様々な農業課題の解消と都市における農業に対応できる計画として策定を進めます。
②	「人・農地プラン」と農地の利用集積の推進について ・「 人・農地プランの実質化 」に向けた見直しや 策定を地域に働きかけ、担い手への農地の集積等の支援 や、農地中間管理機構など関係機関等と連携した推進体制、人材の育成・確保を図られ、地域のコミュニティ機能の低下等を招くことなく 営農環境の維持の支援策を講じられたい。	・国より示されたプラン実質化においては、 地域での話し合いの働きかけを継続し 、営農環境の維持については、 人・農地プラン見直しの機会により、地域の課題の解決に向け貴農業委員会の協力を求めつつ、取組の支援をします。
③	農地の基盤整備の推進と農業作業事故防止について ・農地基盤整備、農作業機械の大型化に対応した 農道の拡幅や水路等の維持・改修に対する支援の拡大 、農作業車両優先の看板等の設置、 農作業事故防止のチラシによる啓発 及び定期的な安全研修・講習会の開催や農業者の労災保険の特別加入制度の周知、啓発を図られ、水稻栽培よりも農地の集積負担が少なく済み、新規就農への機会を得やすいと考えられることから、 地域の声や農地条件を考慮し、畑作換地の基盤整備の拡充を検討されたい。	・農地基盤整備や農作業機械の大型化に対応した 農道整備等の支援拡大は 、これまで通り 支援を継続し 、看板等の設置は、地域からの申し出により、原材料支給で対応します。畑作換地基盤整備は、田から畑へと転換する大幅な変革となるため、 地域の要請に基づき対応します。 また、農作業安全意識向上への取り組みは、集落に対する啓発活動や県による農業機械研修など活用に向けた啓発を行います。
④	農業機械の整備事業について ・農業の持続的な発展には、認定農業者など効率的で安定的な農業経営体や担い手が不可欠であり、労働時間の短縮など労働生産性の向上が必要である。農業機械（特定高性能農業機械）の導入・普及・更新が重要な役割を果たすもので農業生産力の増進、 農業経営の改善に向けた農業機械の整備における支援の拡充をされたい。	・農業の担い手を対象とした国補助事業の活用と引き続き市単独事業による 農業機械補助を継続し 、 地域ぐるみによる集落営農の取り組みを支援します。
⑤	農地中間管理機構について ・農地の集積において重要な機能を担う農地中間管理機構「公益財団法人 滋賀県農林業 担い手育成基金」に対し、農地を貸し付けた全ての集落や個人に対し、確実に「 機構集積協力金 」が交付されるよう 予算の措置を要請されたい。	・機構集積協力金は、今後、 地域でまとまった集積による転賃に対する協力金が発生する場合には予算措置を行います。

2 「新規参入の促進」について

No.	意見概要	回答（抜粋）
①	<p>新たな担い手の確保・育成対策について</p> <p>・国・県の補助金等を活用し、就農後の経営改善を支援する策を講じられ、これを機に<u>多くの担い手の確保・育成をされたい。</u></p> <p>また、NPOや株式会社等、企業等と連携することにより地域農業の活性化や耕作放棄地解消や担い手育成等につながる取組みをされたい。加えて、後継者クラブへの支援の拡充もされたい。</p>	<p>・<u>栗東市チャレンジ農業塾や農業次世代人材投資事業を支援し、企業等との連携については、農業と他業種が組み合わせられることによる効果が期待されることから、行政によるマッチングを行うなど支援します。</u>また、農業後継者クラブへの支援は、活動状況に応じ支援します。</p>
②	<p>女性が活躍できる環境づくりについて</p> <p>・農業のみならず、地域の仲間とのマルシェをはじめ、料理教室の開催による「地産地消」の取り組み等、地域の活性化を担っている「女性農業者の活躍」を再認識し、男女ともに意識改革を図り、女性農業者が一層活躍できる環境整備を進めることが必要であり、<u>女性が意欲的に農業に取り組み、その能力を最大限発揮できるよう、家族経営協定の締結促進や起業など、社会参画促進の支援を講じられたい。</u></p>	<p>・貴農業委員会における支援活動とともに、本市においても、<u>活動の裾野が広がるよう各種セミナー・研修会等を通じ啓発・普及を行なうなど、関係機関と協力しながら支援します。</u></p>
③	<p>魅力ある農業経営への取り組みについて</p> <p>・農業所得の向上は、事業の複合化、6次産業化、ブランド化、地産地消の推進など、高度なマネジメント能力が重要で、そのマネジメント能力を要する人材を確保し、専門的な相談窓口の創設について、検討されたい。また、本市やJA等における栗東市チャレンジ農業塾生の研修活動等、魅力ある農業の発信（広報・宣伝活動等）によって、IターンやUターン希望者を含む若者等が、<u>農業に対して関心や魅力を高められるよう、取り組まれたい。</u></p>	<p>・県による「しがの農業経営相談所」やJAなどの関係団体を活用するなど農業に関連するマネジメント人材の確保について支援します。また、<u>広報紙やフェイスブック等による広報・宣伝を継続して取り組むものとし魅力ある農業の普及に努めます。</u></p>
④	<p>円滑な農業経営の継承について</p> <p>・認定農業者や集落営農の後継者等の横のつながりを強化する組織体制の構築と、担い手の経営能力を養成する農業経営セミナー等を開催するとともに、<u>後継者への継承計画の策定など円滑な経営継承が進められるよう支援を講じられたい。</u></p>	<p>・人・農地プランを活用した地域での徹底した話し合いにより、<u>地域での課題等を農業者が共有化することで今後地域が向かうべき方針を策定されるよう、貴農業委員会とともに関係機関が開催するセミナー等を活用し支援します。</u>なお、国では農業経営の継承に向けた事業を検討していることから、市においても注視しています。</p>
⑤	<p>担い手不在地域の活性化対策の推進について</p> <p>・<u>持続可能な農業が営めるよう、集落の再生・自治機能の強化、周辺地域の担い手との農作業受委託の促進や農家民泊、手作り農園の開設等に取り組む仕組みを構築されたい。</u></p> <p>また、農業系の学校・学部の連携をはじめ、新規就農者の受け入れ制度の構築と支援を行える環境整備に取り組まれたい。</p>	<p>・過疎化や高齢化が進む中山間地域では、様々な課題が山積しており、解決に導くには多角的な検証を重ねることにより対策を考え、この検証により<u>現在策定中の農業振興基本計画において、中山間地における本市農業のあり方を検討します。</u>また、農村まるごと保全向上対策による活動や中山間地域直接支払制度の活用による農地の維持保全を継続するとともに「<u>棚田ボランティア</u>」や企業など地域外からの参画による活性化を図る取組みを推進します。</p>

3 「遊休農地の発生防止・解消」について

No.	意見概要	回答（抜粋）
①	<p>耕作放棄地対策組織の整備と対策制度の充実について</p> <p>・遊休農地等の解消対策として、中山間地域の条件不利な農地の<u>農業振興地域農用地の見直しを実施され、守るべき農地の明確化と行政・JAなど「関係機関が一体となった推進体制」を整備されたい。</u>また、収用事業の残地についても簡易な土地改良整備に取り組まれるなど支援を講じられたい。</p> <p>なお、耕作放棄地に対しての「ペナルティとしての課税」は、止むを得ない事情がある地権者も見受けられることから、慎重な対応を求めます。</p>	<p>・遊休農地の解消対策として<u>中山間地域に対し各種交付金等により支援を実施しています。</u>貴委員会が実施する利用状況調査や利用意向調査に協力するとともに、今年度より着手した<u>農業振興基本計画において、遊休農地対策を検討します。</u>収用事業の残地については、事業実施者と調整を行い事業後の営農に影響が及ばされないよう、耕作者、地権者及び行政で調整を図ります。また、耕作放棄地の課税については、慎重に対応します。</p>

②	有害鳥獣被害防止対策の充実について	<p>・有害鳥獣の駆除または捕獲に携わる人材の確保・育成に努められたい。加えて、有害鳥獣が出没しにくい環境づくりや、安全性を確保しつつ電気柵及びメッシュ柵の設置の拡大を図られたい。</p> <p>また、捕獲した鳥獣は、食肉利用など地域資源としての有効活用を推進されたい。</p>	<p>・獣害防護柵の資材補助による獣被害の防止と捕獲免許取得者に対する免許登録料等の助成により人材確保に努めます。また、捕獲鳥獣の食肉利用は、需給バランス等を鑑みずと現時点でのビジネスモデルとして実現は困難であると考えています。</p>
③	持続可能な農業経営対策の充実について	<p>・安定的な水田農業の維持発展を図るため、産地交付金等の市単独補助事業の創設の検討、市内産米の販路確保等の対策や、主食用米以外の米の生産・販売対策の強化、集落経営枠を越えた広域化での経営の指導等、十分な対策を講じられたい。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、農業分野においても様々な影響が生じていることから、農業者に対して、幅広く支援されたい。</p> <p>加えて収入保険制度の導入についても農業者に十分な周知を行いますようお願いいたします。</p>	<p>・産地交付金等の市単独補助事業創設は、国等の交付金を活用しながら JA や関係機関と連携し実需者ニーズに応えられる農産物の生産・販売への支援を継続します。新型コロナウイルス感染症による本市農業への影響対策は、国支援事業と市単独による上乗せ支援処置を実施しています。また、収入保険制度についての情報など提供に努めます。</p>
④	食育の推進について	<p>・中学生の職業体験や、たんぼのこ体験事業をはじめ、農業体験事業等、様々な体験を通じて、子どものみならず高校生、大学生等広く市民に対し、本市の農業・農村の重要性を学び、参画する「農業者との心のふれあい」の機会を増大されたい。</p> <p>また、本市の「学校給食の食材」として、安全・安心な地元産の食材利用と、郷土料理等の導入の取り組みの実績を求めます。</p>	<p>・栗東市農業振興会と協働で子どもたちを対象とした食育事業や、非農業者向けの野菜栽培事業を実施しています。小学校においては地域の方々にご協力いただく学習田での体験を通して、生産者の思いや工夫とご苦労を知る取り組みを進め、中学校の職場体験においても農業への関心が高まるよう進めています。栗東産食材を使用している日を学校給食の献立表に明記しており、地元農産物を積極的に使用します。また、郷土料理を学校給食として採用できるものは、引き続き実施します。</p>

※上記の意見概要や回答について、ご意見やご感想等があれば、裏面の農業委員・農地利用最適化推進委員までお願いいたします。

※皆様のご意見、ご感想等、今後の農林部局との意見交換会において、参考にさせていただき、皆様の声を届けていきたいと思っております。

遊休荒廃農地等大規模パトロール結果等について

昨年11月に遊休荒廃農地等現地調査を3日間実施し、その結果、中山間地域を中心に約6.9ha（67筆）を遊休荒廃農地としてまた、約0.8ha（6筆）を無断転用として確認し、地区担当の農業委員と推進委員が所有者に対し、利用意向調査や無断転用者に、ヒアリング等を実施し、解消を促しました。引き続き改善に向け取り組んでまいります。



●遊休荒廃農地等（無断転用含む）のうち、約2.8ha（25筆）については、改善できました。

農作業中の熱中症にご注意を！

昨年、一昨年と農作業中の熱中症での死者数が十年間で増加傾向となっています。

また、死者数の内、70代以上の割合は約86%を占めています。

熱中症の対策として心掛けていただきたいことは、以下のポイントです。



- 1.作業前、作業中の水分補給は喉が渇いていなくても20分おきに！
- 2.単独での作業を避け、定期的にお互いに異常がないか確認を！
- 3.休憩時には脇の下や、首筋、足の付け根などを冷やし、体温を下げましょう！

もし水分、塩分補給、また体を冷やしても体調不良の症状がよくなる場合は、すぐに病院を受診しましょう。



農地法に基づく申請・届出その他関係書類の

現地確認担当一覧

農地法に基づく申請や届出等の手続き書類の現地の判断や、農地等に関するご相談は、下記の担当が対応します。
(担当期間：令和2年7月20日～令和5年7月19日)

区域	担当集落名	職	担当	連絡先	副担当
金勝	山入・辻越・中村	農地利用最適化推進委員	山本 益造	077-558-1650	竹村
	蔵町・東坂	農地利用最適化推進委員	竹村 明	077-558-1734	山本
	井上・観音寺	農業委員	井上 幹雄	077-558-0555	青木
	上向・下向・川南	農業委員	青木 文男	077-558-1262	井上
	美之郷・浅柄野・雨丸	農業委員	中島 豊勝	077-558-0444	片岡兵
	片山・走井・成谷	農地利用最適化推進委員	片岡 兵藏	077-558-0093	中島
葉山	伊勢落・林	農業委員	武村 秀夫	077-552-3132	林悦
	六地藏	農業委員	林 悦子	077-552-3713	武村一
	小野・手原・大橋	農業委員	小山 邦一	077-551-0710	深尾
	宅屋・出庭	農地利用最適化推進委員	深尾 喜廣	077-553-2713	松村
	中	農地利用最適化推進委員	松村 洋子	077-552-3807	小山
	辻・小坂・今土	農地利用最適化推進委員	武村 一	077-552-0441	武村秀
治田	下戸山	農業委員	中井あけみ	077-552-0142	小林
	目川・岡	農業委員	小林 健治	077-553-1774	中井あ
	安養寺・坊袋・川辺	農地利用最適化推進委員	吉川新太郎	077-552-3548	林久
	上鉤・下鉤甲・下鉤乙・ 下鉤糠田井	農業委員	林 久	077-552-4557	片岡郁
	小柿・小柿第1・新屋敷・中沢	農業委員	片岡 郁雄	077-552-1363	吉川
大宝	蜂屋・野尻・苅原	農業委員	林 正和	077-552-0051	中井栄
	糺第1・糺北・糺南	農業委員	中井 栄夫	077-552-0353	林正
	市川原・笠川・霊仙寺	農業委員	杉田 健一	077-598-5368	駒井
	小平井・北中小路・十里	農業委員	駒井 英祐	077-576-8610	杉田

※ 担当者に連絡が、繋がらない場合は、事務局から連絡します。

☆総会日程☆

- 第12回栗東市農業委員会総会 ・ 令和3年7月 9日(金) 午前9時30分～ 場所:市役所庁舎4階 協議会室
 第13回栗東市農業委員会総会 ・ 令和3年8月 10日(火) 午前9時30分～ 場所:市役所庁舎4階 協議会室
 第14回栗東市農業委員会総会 ・ 令和3年9月 10日(金) 午後9時30分～ 場所:市役所庁舎2階 第1会議室

第23期栗東市農業委員会 会長：武村秀夫 副会長：林 久
 編集：栗東市農業委員会農政・広報部会 農政・広報部会長：小山邦一
 農政・広報部会員：小山邦一 / 杉田健一 / 中井あけみ / 青木文男 / 中井栄夫 / 駒井英祐
 発行日：令和3年6月10日(木) 発行：栗東市農業委員会 TEL:077-551-0319 FAX:077-551-0148